

休暇村 乳頭温泉郷

Kyuukamura Nyuutou Onsenkyou
(秋田県仙北市)



東北旅行4日目の本日は、小岩井農場、田沢湖を巡り、乳頭温泉へやってきた。乳頭温泉には複数の温泉宿があるが、温泉街というものはない。田沢湖からアプローチすると、最初に鶴の湯温泉への分岐があり、次に現れるのが休暇村 乳頭温泉郷、ここから右へ行くと黒湯温泉、左へ行くと妙乃湯温泉、大釜温泉、蟹場温泉があり、大釜温泉より少し先の舗装されていない分軌道へ行くと孫六温泉がある。これらのうち、孫六温泉へは徒歩も使わなければ到達しない。まさに秘湯だ。

乳頭温泉と言えば、真っ白の湯が有名である。しかし、今回紹介する休暇村 乳頭温泉郷には2種類の湯があるので魅力的である。早速、休暇村 乳頭温泉郷の風呂を紹介する。

休暇村 乳頭温泉郷の風呂は3階の一番奥にある。脱衣室の手前には新しいマッサージ椅子が2つある。脱衣室にはコインロッカーがあるので貴重品の管理にも安心である。洗面台は3個あり、様々なアメニティーが完備している。綿棒、乳液、化粧液、育毛剤、かかとクリーム、洗顔フォーム、ヘアリキッド、ヘアトニック、アフターシェーブローションなどだ。

浴室は左手に内湯浴槽が2つ並んでおり、右手が洗い場、奥が露天風呂である。洗い場の水圧は恐ろし



く高い。蜂蜜のシャンプー、コンディショナー、ボディソープ、固形石鹸の他、檜の炭の固形石鹸、軽石も具備されている。

浴槽は片方が「田沢湖高原の湯」、もう片方が「乳頭の湯」だ。前者が真っ白な湯、後者が少し褐色の湯であり、イメージとは逆である。前者は熱い湯と記載があるが適温である。これが熱い湯なら、大江戸銭湯の熱い湯は熱湯である。定員は4人程度だ。後者はぬるめと記載があり、長湯にはもってこいだ。定員は20人程度だ。



露天風呂は真っ白な湯であり、何やら白い浮遊物が大量に舞っている。従って内湯よりも濃いような気がする。湯温はややぬるめ。こちらも長湯が可能だ。定員は10人程度。露天風呂から見えるのはブナの原生林。いかにも涼しげだ。

ちなみに、「田沢湖高原の湯」は単純硫黄泉（硫化水素 低張性・弱酸性・高温泉）で、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、抹消循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症などに効くという。

また、「乳頭の湯」は、ナトリウム-炭酸水素塩泉（低張性・中性・高温泉）で、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、抹消循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、皮膚乾燥症などに効くという。

乳頭温泉の各宿はいずれも魅力的であろう。全部紹介できないのが惜しい。

DATA

名称	休暇村 乳頭温泉郷
所在地	秋田県仙北市田沢湖駒ヶ岳 2-1
電話	0187-46-2244
営業時間	日帰り入浴は 11:00~17:00 宿泊者は 11:00~24:00、5:00~9:00
定休日	無休
入浴料	大人 600 円、小学生以下 300 円 宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2020 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	たざわ湖スキー場